

# 地場企業の経営動向調査

(平成23年度第1・四半期)

平成23年8月5日

 福岡商工会議所

総合企画本部 企画広報グループ

TEL 092-441-1112

## 調査目的

福岡市内地場企業（一部福岡市近郊を含む）の景況及び経営動向を把握すると同時に、これらの情報を企業へ提供し、企業経営の参考に資するものである。

## 調査対象

当所会員企業を対象とし1,500社を任意抽出したもので、対象企業の内訳は中小企業 1,388社（構成比率92.5%）、大企業112社（構成比率7.5%）により構成されている。

回答した企業数は 697社、回答率 46.5%となっており、回答企業の内訳は、中小企業652社（構成比率93.5%）、大企業45社（構成比率6.5%）となっている。

※ 中小企業の範囲は中小企業基本法の定義に基づく。

## 調査要領

四半期毎にアンケート用紙を郵送、前年同期比の回答を求めるもので、今回は平成23年4～6月期の実績、及び平成23年7～9月期の予想について、平成23年6月末時点で調査した。

## 調査内容

※DI値を集計（DI=「良いとする回答割合」－「悪いとする回答割合」）

DI …… Diffusion Index（景気動向指数）の略

### 《 景気・経営動向調査 》

1. 自社・業界の景況
2. 生産額、売上額、完成工事高
3. 原材料・製（商）品仕入価格
4. 受注価格、販売価格
5. 製（商）品在庫
6. 営業利益
7. 売掛期間
8. 資金繰り
9. 100万円以上の新規借入

平成23年度 第1・四半期

調査対象企業数及び回収結果

規模別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全業種	1,500	697	46.5%	
中小企業	1,388	652	47.0%	93.5%
大企業	112	45	40.2%	6.5%

業種別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全業種	1,500	697	46.5%	
建設業	233	130	55.8%	18.7%
土木建設業	82	45	54.9%	6.5%
建設付帯工事業	73	33	45.2%	4.7%
電気・管工事業	78	52	66.7%	7.5%
製造業	183	95	51.9%	13.6%
食料品製造業	36	20	55.6%	2.9%
繊維製品製造業	12	7	58.3%	1.0%
建材・木・紙製品製造業	15	6	40.0%	0.9%
印刷・製本業	29	15	51.7%	2.2%
窯業・土石製品製造業	10	4	40.0%	0.6%
金属製品製造業	18	12	66.7%	1.7%
一般機械器具製造業	23	11	47.8%	1.6%
電気機械器具製造業	15	8	53.3%	1.1%
その他製造業	25	12	48.0%	1.7%
卸売業	224	119	53.1%	17.1%
食料品卸売業	44	18	40.9%	2.6%
繊維製品卸売業	22	12	54.5%	1.7%
建材・住宅機器卸売業	28	17	60.7%	2.4%
紙・文具卸売業	10	7	70.0%	1.0%
金属・鋼材卸売業	10	5	50.0%	0.7%
一般機械器具卸売業	35	17	48.6%	2.4%
石油・化学製品卸売業	15	9	60.0%	1.3%
その他卸売業	60	34	56.7%	4.9%
小売業	222	69	31.1%	9.9%
食料品小売業	53	15	28.3%	2.2%
衣料品・身の回り品卸売業	34	10	29.4%	1.4%
石油・化学製品小売業	5	2	40.0%	0.3%
車両運搬具小売業	16	3	18.8%	0.4%
家電・厨房器具小売業	15	5	33.3%	0.7%
百貨店・セルフ店	10	3	30.0%	0.4%
その他小売業	89	31	34.8%	4.4%
運輸・倉庫業	70	35	50.0%	5.0%
旅客運送業	20	9	45.0%	1.3%
貨物運送・倉庫業	50	26	52.0%	3.7%
サービス業	568	249	43.8%	35.7%
情報処理サービス業	70	48	68.6%	6.9%
その他事務所サービス業	331	136	41.1%	19.5%
ホテル・旅館・飲食業	111	38	34.2%	5.5%
その他の個人サービス業	56	27	48.2%	3.9%

## 「 福商・経営動向調査 」 調査結果

### 景況概況（DI 値の動き）

1. 自社業況は、今期▲39.3となり、前期との比較ではマイナス13.3ポイントと2期連続の悪化となった。  
業種別に対前期比をみると、小売業がマイナス21.2ポイント(前期DI値▲19.4)、運輸・倉庫業マイナス17.9ポイント(同▲27.8)、卸売業マイナス17.2ポイント(同28.2)、建設業マイナス15.6ポイント(同▲22.8)、製造業マイナス14.9ポイント(同▲16.8)、サービス業マイナス6.7ポイント(同▲31.9)と全ての業種で悪化がみられた。  
次四半期(H23年7~9月)の全業種予測DI値は▲28.1(今期比プラス11.2ポイント)となっており、改善することが予測されている。
2. 業界の景気動向は、今期▲54.0と前期との比較ではマイナス9.7ポイントと6期ぶりの悪化となった。  
次四半期については▲40.4とプラス13.6ポイントの改善が予測されている。
3. 生産額、売上額、完成工事高は、今期▲31.4となり、前期との比較ではマイナス7.8ポイントと2期連続の悪化となった。  
次四半期については▲24.1とプラス7.3ポイントの改善が予測されている。
4. 原材料、製(商)品仕入価格は、今期27.8と前期との比較ではプラス6.0ポイントと3期連続の上昇となった。  
次四半期については26.0とマイナス1.8ポイントの下落予測となっている。
5. 受注価格、販売価格は、今期▲28.4と前期との比較ではマイナス5.1ポイントと3期ぶりの悪化となった。  
次四半期については▲21.3とプラス7.1ポイントの改善が予測されている。
6. 営業利益は、今期▲40.3と前期との比較ではマイナス7.5ポイントと2期ぶりの悪化となった。  
次四半期については▲31.0とプラス9.3ポイントの改善が予測されている。
7. 売上増加の理由は、「受注、需要の増加」58.7%、「得意先開拓・客数の増加」42.4%に集中している。  
一方で減少した理由としては、「受注、需要の減少」が68.5%と突出し、「客単価の低下」38.9%、「得意先開拓・客数の減少」28.0%、「天候などの自然条件」26.7%の順となっている。
8. 当面の経営上の問題点としては、「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」57.0%、「受注、販売競争の激化」53.7%、「営業利益の低下」43.6%の3項目を指摘する傾向が続いており、全業種ともほぼ3項目に集中している。  
また、「原材料高、入手難」16.8%で前期比マイナス5.8%(前期22.6%)と、震災による原材料の入手難もやや回復したことが表れている。他に指摘が集中した項目として、建設業では「官公需要の停滞」が全業種で19.1%に対し45.4%、「元請の減少」が全業種で6.9%に対し23.1%と突出し、非常に高水準となっているのが特徴である。

## 参考指標

日経平均株価	9,816.09 円	(平成 23 年 6 月 30 日 終値)
対米ドル円相場終値	80.52 円	(平成 23 年 6 月 30 日 終値)
対ユーロ円相場終値	116.78 円	(平成 23 年 6 月 30 日 終値)
原油価格 (WTI)	US\$ 95.42/バレル	(平成 23 年 6 月 30 日 終値)

## 景気判断

平成23年6月の月例経済報告（内閣府）では景気の基調判断を「景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、このところ上向きの動きがみられる。」としている。

併せて項目別では「生産は、東日本大震災の影響により減少していたが、上向きの動きがみられる。輸出は、減少していたが、上向きの動きがみられる。企業収益は、増勢が鈍化している。設備投資は、東日本大震災の影響により、このところ弱い動きがみられる。企業の業況判断は、慎重さがみられる。雇用情勢は、東日本大震災の影響により、このところ持ち直しの動きに足踏みがみられ、依然として厳しい。個人消費は、引き続き弱さがみられるものの、下げ止まりつつある。物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。先行きについては、サプライチェーンの立て直しが進み、生産活動が回復していくのに伴い、海外経済の緩やかな回復や各種の政策効果などを背景に、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、電力供給の制約や原子力災害及び原油高の影響に加え、海外経済の回復がさらに緩やかになること等により、景気が下振れするリスクが存在する。また、デフレの影響や、雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることにも注意が必要である。」としている。

当所の今四半期（平成 23 年 4～6 月）調査において、地場企業の自社業況判断指数（DI 値＝前年同期と比較し「良くなった」とする回答割合から「悪くなった」とする回答割合を引いた数値）の全業種平均 DI 値は▲39.3 で、前期比マイナス 13.3 ポイントと 2 期連続で悪化した。

### 【DI 値の推移】

H20 第 2 期	H20 第 3 期	H20 第 4 期	H21 第 1 期	H21 第 2 期	H21 第 3 期	H21 第 4 期	H22 第 1 期	H22 第 2 期	H22 第 3 期	H22 第 4 期	H23 第 1 期
▲ 46.9	▲ 60.9	▲ 67.1	▲ 59.9	▲ 57.3	▲ 54.4	▲ 41.2	▲ 33.1	▲ 33.6	▲ 24.7	▲ 26.0	▲ 39.3

※網掛けは前年同月比プラス

## まとめ

今期の自社状況については、大幅にマイナス幅が拡大し、2期連続の悪化となった。また、業種別では6業種全てで悪化した。特に、前期に唯一大きく改善した小売業も、今期は一転大幅な悪化となっている。

DI値は（平成3年度第2・四半期以来）80期連続でマイナス値となった。

全体的には、東日本大震災が企業に与えた影響は甚大で、サプライチェーンの障害に伴う部品・資材等の調達難、原材料の高騰などは当所会員企業にも広く見られた。

前期にはスーパー・百貨店などの大型小売店の下げ止まりや、有効求人倍率の底打ちが見られるなど、緩やかながら回復基調が続いていたが、震災発生によって一変して劇的に悪化し、「自社企業DI」はリーマン・ショック後と同等の落ち込み幅となった。5期連続で改善を続けていた「業界の景況DI」も6期ぶりの悪化となった。

規模別に「自社業況DI」をみると、調査対象の9割以上を占める中小企業は前期比マイナス11.6ポイント（DI値▲40.2）、大企業は同マイナス33.6ポイント（DI値▲26.7）と規模にかかわらず悪化した。

業種別にみると、全業種の中でも小売業のマイナス幅が最も大きく、震災直後には飲料・食料品等の日用品の買いためが見られ、売上が大きく伸長したものの需要の先食い過ぎ、一転して節電ムードが消費者の節約志向を増幅し、消費マインドは一層低迷している。

また、サービス業は他の業種に比べると、緩やかな落ち込みであったものの、イベントの中止・延期や原発事故の風評被害による外国人観光客の激減に伴う飲食業・ホテル業への客足の減少といった事例のほか、円高や震災の影響が経営状況を悪化させたことから、企業は広告活動やIT投資を抑制するため、こうした業界の業況は非常に厳しいとのコメントが多く寄せられた。

項目別にみると、原油価格高騰にサプライチェーン障害の影響も加わり、原材料価格が上昇傾向にあることを反映して「原材料・製（商）品仕入価格DI」は3期連続の上昇となっている。

また、「資金繰りDI」の2期連続の改善は、セーフティネット保証の延長や震災対応制度融資などの影響を反映したものと見られる。

次四半期の予測 DI 値は▲28.1 で今期比プラス11.2ポイントと改善が予測されている。業種別では、6業種全てで改善が予測されている。

6月に入ると、サプライチェーンの立て直しに伴い、一部資材を除いて部品・資材等の入手はほぼ通常どおりに戻るなど沈静傾向にあり、震災の影響は徐々に回復している。

さらに夏期に入ると、猛暑や節電対策によるエコ・省エネ商品等の好調、7月22日の地上デジタル放送への一斉移行を前に、地デジ対応テレビへの駆け込み需要の発生などが期待されていることを反映し、来期については改善が予測されている。一方で、九州における電力安定供給への懸念、震災対策への政府対応の遅れによる先行き不透明など、不安要素を抱えていることにも注視しなければならない。

#### 《 回答企業の主なコメントより(抜粋) 》

- ・ エレベーターやユニットバス、断熱材などが入手困難になっており、価格が上昇し高止まりしているものもある。(建設業)
- ・ 震災後、関東地区の生産拠点の一部を九州へシフトするなどの緊急対応で、受注の減少を食い止めた。(製造業)
- ・ 食料品の輸入国における輸入禁止・制限による輸出減少。また、放射能に関連し輸入者側から産地や安全を証明する書類の提出が求められたほか、書類を求められていないものの、通関検査で放射能反応が出た場合に、返還する際のコストを負担するよう取り決めを求められるケースもあった。(卸売業)
- ・ 震災直後は、生活、飲料、米飯加工品、カップめん等の日用品の買いだめが見られ、売上が大きく伸長したが、需要を先取りしたとも云え4月以降の売上は鈍化した。(小売業)
- ・ 九州新幹線全線開通による観光客の増加と、それに伴う市内ホテルの稼働率上昇を期待していたが、震災が発生し、中国・韓国を中心としたアジアからの観光客が激減してしまい、売上見込みを大幅に下回る結果となってしまった。(サービス業)

# 1. 自社・業界の景況

《2期連続の悪化、次期予測は反転改善へ》

今四半期（H23年4～6月）の地場企業の景況判断指数（DI値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合は15.1%（前期比-5.1ポイント）、「悪くなった」と回答した企業割合は54.4%（前期比+8.2ポイント）、「横ばい」と回答した企業割合は30.3%（前期比-3.3ポイント）となった。DI値は▲39.3（前期DI値▲26.0）となり、前期比で-13.3ポイントと大幅に悪化した。

業種別に対前期比でDI値を見ると、今回の調査で小売業が-21.2ポイント（前期DI値▲19.4）、運輸・倉庫業-17.9ポイント（同▲27.8）、卸売業-17.2ポイント（同▲28.2）、建設業-15.6ポイント（同▲22.8）、製造業-14.9ポイント（同▲16.8）、サービス業-6.7ポイント（同▲31.9）の悪化となった。

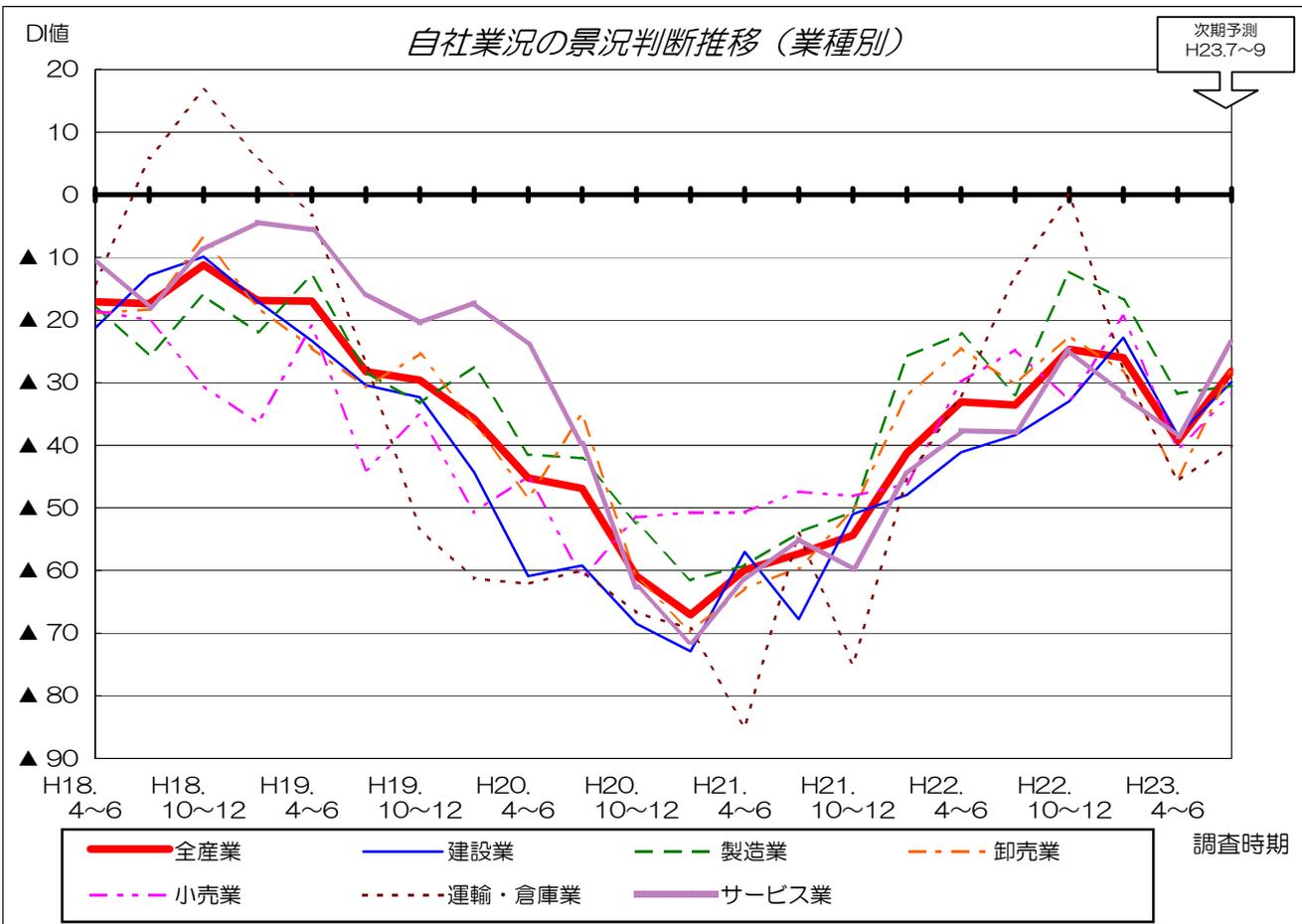
また、規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比-11.6ポイント（前期DI値▲28.6）、大企業は-33.6ポイント（同6.9）と悪化した。

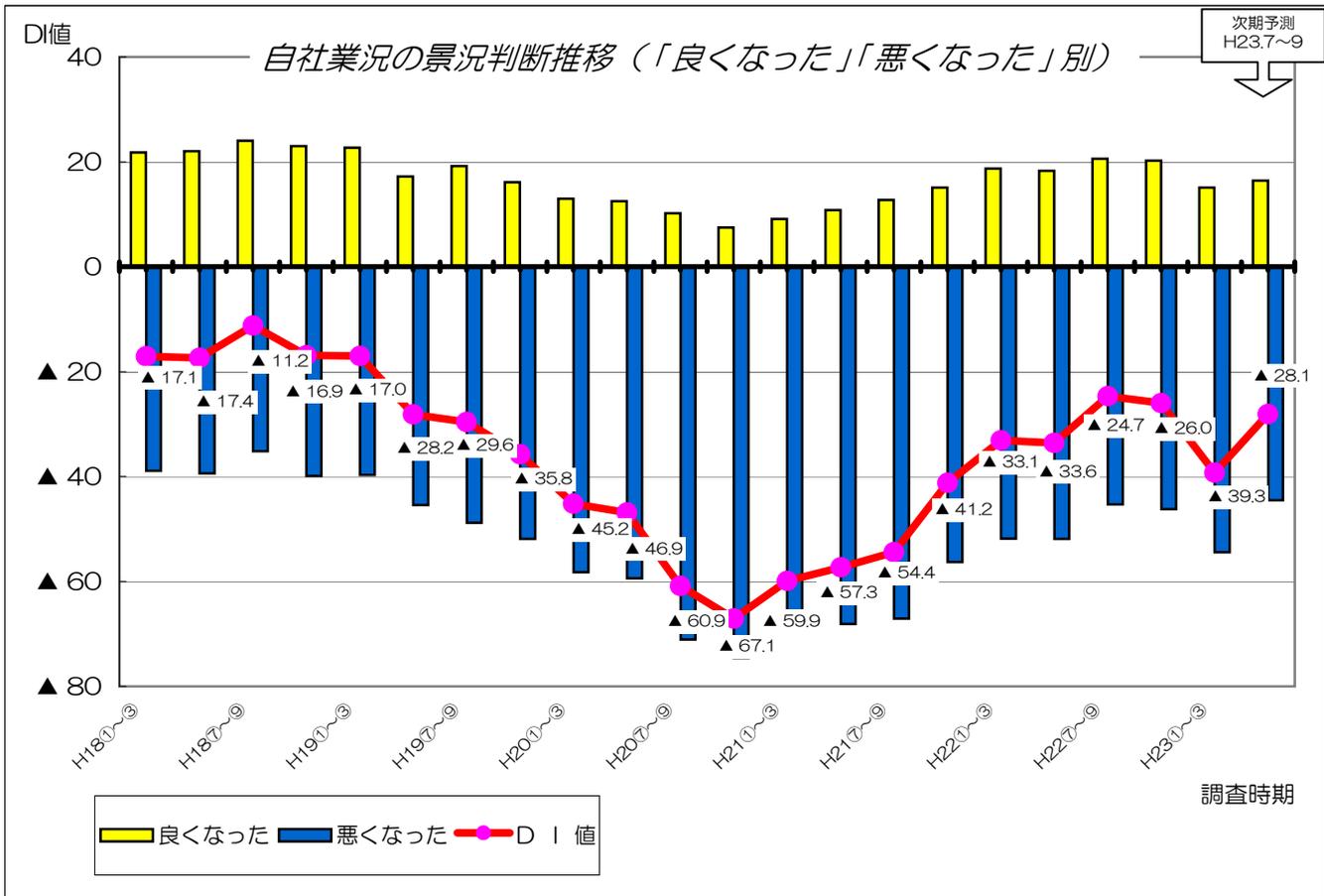
次四半期（H23年7～9月）の全業種予測DI値は▲28.1（今期比+11.2ポイント）となっており、改善が見込まれている。

《 自社業況の総合判断(前年同期と比較して) 》

(単位 %)

	今四半期(23年4～6月期)実績							次四半期(23年7～9月期)予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI値
全業種	1.3	13.8	30.3	41.8	12.6	0.3	▲39.3	1.3	15.1	36.3	35.6	8.9	2.9	▲28.1
建設業	2.3	12.3	31.5	41.5	11.5	0.8	▲38.4	0.8	15.4	35.4	36.9	9.2	2.3	▲29.9
製造業	0.0	18.9	30.5	41.1	9.5	0.0	▲31.7	0.0	17.9	32.6	37.9	10.5	1.1	▲30.5
卸売業	0.8	12.6	26.9	49.6	9.2	0.8	▲45.4	0.0	15.1	39.5	35.3	7.6	2.5	▲27.8
小売業	1.4	15.9	24.6	42.0	15.9	0.0	▲40.6	2.9	13.0	36.2	40.6	7.2	0.0	▲31.9
運輸・倉庫業	0.0	11.4	31.4	45.7	11.4	0.0	▲45.7	0.0	11.4	34.3	51.4	0.0	2.9	▲40.0
サービス業	1.6	12.9	32.5	37.8	15.3	0.0	▲38.6	2.4	14.9	36.9	30.5	10.4	4.8	▲23.6
中小企業	1.2	13.5	30.1	41.9	13.0	0.3	▲40.2	1.4	15.0	35.3	36.0	9.2	3.1	▲28.8
大企業	2.2	17.8	33.3	40.0	6.7	0.0	▲26.7	0.0	15.6	51.1	28.9	4.4	0.0	▲17.7





### 業界の景況

《業界景況は6期ぶりの悪化、次期予測は反転改善へ》

地場企業から見た自社の属する業界の景況判断指数（D I 値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合が6.4%、「悪くなった」と回答した企業割合が60.4%、「横ばい」と回答した企業割合が31.9%となっており、D I 値は▲54.0（前期D I 値▲44.3）と前期比で-9.7ポイントの悪化となった。

業種別に対前期比でD I 値を見ると、小売業が-22.2ポイント（前期D I 値▲38.7）、製造業-11.9ポイント（同▲38.6）、建設業-10.2ポイント（同▲44.5）、卸売業-8.3ポイント（同▲50.5）、運輸・倉庫業-7.3ポイント（同▲55.5）、サービス業-5.6ポイント（同▲43.9）の悪化となった。

規模別のD I 値を見ると、中小企業は前期比-8.5ポイント（前期D I 値▲46.3）、大企業は-24.1ポイント（同▲18.1）と悪化した。

次四半期予測D I 値は▲40.4となっており、今期比+13.6ポイントと改善が予測されている。

《 業界の景気動向（前年同期と比較して） 》

（ 単位 % ）

	今四半期(23年4～6月期)実績							次四半期(23年7～9月期)予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	D I 値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	D I 値
全業種	0.4	6.0	31.9	45.5	14.9	1.3	▲54.0	0.3	9.3	36.2	40.2	9.8	4.3	▲40.4
建設業	0.0	3.8	36.2	40.0	18.5	1.5	▲54.7	0.0	11.5	35.4	33.1	16.9	3.1	▲38.5
製造業	0.0	9.5	29.5	45.3	14.7	1.1	▲50.5	0.0	7.4	40.0	41.1	9.5	2.1	▲43.2
卸売業	0.0	5.9	27.7	54.6	10.1	1.7	▲58.8	0.0	9.2	37.8	42.9	6.7	3.4	▲40.4
小売業	0.0	4.3	29.0	49.3	15.9	1.4	▲60.9	0.0	5.8	37.7	44.9	8.7	2.9	▲47.8
運輸・倉庫業	0.0	2.9	31.4	48.6	17.1	0.0	▲62.8	0.0	5.7	31.4	60.0	0.0	2.9	▲54.3
サービス業	1.2	6.8	33.3	42.6	14.9	1.2	▲49.5	0.8	10.4	34.5	38.2	9.2	6.8	▲36.2
中小企業	0.5	5.8	31.3	45.6	15.5	1.4	▲54.8	0.3	9.7	34.5	40.6	10.3	4.6	▲40.9
大企業	0.0	8.9	40.0	44.4	6.7	0.0	▲42.2	0.0	4.4	60.0	33.3	2.2	0.0	▲31.1

## 2. 生産額、売上額、完成工事高

《2期連続の悪化、次期予測は反転改善へ》

生産額、売上額、完成工事高は、全業種平均で「増えた」と回答した企業割合は13.2%、「減った」と回答した企業割合は44.6%となっており、DI値は▲31.4（前期DI値▲23.6）と前期比-7.8ポイントの悪化となった。

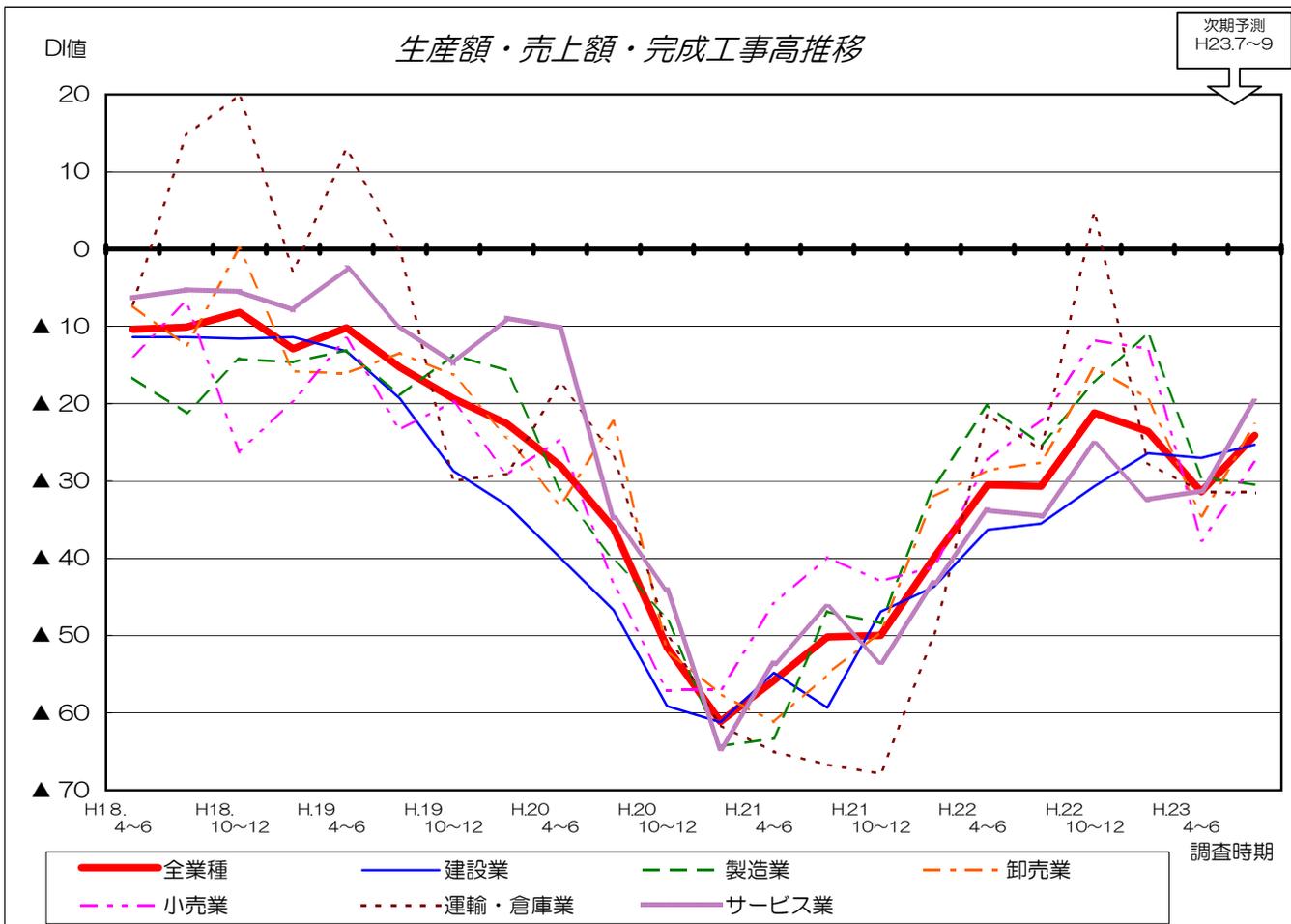
業種別に対前期比でDI値を見ると、サービス業が+1.1ポイントと改善したものの、小売業が-24.8ポイント、製造業-18.7ポイント、卸売業-15.2ポイント、運輸・倉庫業-3.7ポイント、建設業-0.6ポイントの悪化となった。

売上が増加した理由としては、「受注、需要の増加」58.7%、「得意先開拓・客数の増加」42.4%に集中している。減少した理由としては、「受注、需要の減少」が68.5%と突出し、「客単価の低下」38.9%、「得意先開拓・客数の減少」28.0%、「天候などの自然条件」26.7%の順となっている。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比-5.8ポイント（前期DI値▲25.9）、大企業は前期比-29.0ポイント（同2.3）と悪化した。

（単位 %）

	今四半期(23年4~6月期)実績							次四半期(23年7~9月期)予測						
	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値
全業種	2.6	10.6	38.6	32.4	12.2	3.6	▲31.4	2.7	9.9	43.8	28.7	8.0	6.9	▲24.1
建設業	2.3	10.0	46.9	26.2	13.1	1.5	▲27.0	3.1	8.5	47.7	25.4	11.5	3.8	▲25.3
製造業	0.0	17.9	33.7	33.7	13.7	1.1	▲29.5	1.1	12.6	38.9	33.7	10.5	3.2	▲30.5
卸売業	2.5	9.2	38.7	36.1	10.1	3.4	▲34.5	0.8	11.8	47.9	29.4	5.9	4.2	▲22.7
小売業	4.3	11.6	27.5	39.1	14.5	2.9	▲37.7	4.3	10.1	37.7	31.9	10.1	5.8	▲27.6
運輸・倉庫業	0.0	8.6	45.7	31.4	8.6	5.7	▲31.4	0.0	5.7	48.6	34.3	2.9	8.6	▲31.5
サービス業	3.6	8.8	38.2	31.7	12.0	5.6	▲31.3	4.0	9.2	42.6	26.5	6.4	11.2	▲19.7
中小企業	2.8	10.1	38.8	32.2	12.4	3.7	▲31.7	2.9	9.5	43.3	29.0	8.1	7.2	▲24.7
大企業	0.0	17.8	35.6	35.6	8.9	2.2	▲26.7	0.0	15.6	51.1	24.4	6.7	2.2	▲15.5



参考資料：（ 2. 生産額、売上額、完成工事高 ）

今期の生産額、売上額、完成工事高が前年同期より増加した主な理由（複数回答可）（単位 %）

増加理由	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	然天候条件などの自	増受注又は需要の減少	情道の路、変化、交通事	ズは製消（商）品又	金格出荷改定上・販、売料価	促売進出等の販売	へ開新製業大客容得意の先増減拓・	業種の手業者の進出、他	客得意の先増減拓・	又は客単価の下上昇	品取量の増減（商）
全業種	5.4	58.7	2.2	4.3	9.8	8.7	9.8	1.1	42.4	5.4	10.9
建設業	6.3	81.3	0.0	6.3	6.3	0.0	18.8	0.0	31.3	12.5	12.5
製造業	0.0	82.4	5.9	0.0	17.6	11.8	0.0	0.0	23.5	5.9	23.5
卸売業	7.1	71.4	0.0	14.3	14.3	14.3	7.1	7.1	57.1	7.1	14.3
小売業	9.1	27.3	0.0	0.0	18.2	27.3	0.0	0.0	45.5	9.1	9.1
運輸・倉庫業	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
サービス業	6.5	41.9	3.2	3.2	3.2	3.2	16.1	0.0	48.4	0.0	3.2
中小企業	4.8	58.3	2.4	3.6	10.7	9.5	10.7	1.2	41.7	6.0	10.7
大企業	12.5	62.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	12.5

増加理由	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	上品取の抜製（商）向	採路工採算線場、部門張、縮、小不	変移工変化、等、立地舗の	約支店の開設、増減、特	力老設の低化、店競争の	又両機は導機、備、買・替車	員営の増、減、外、商、社	手技の増者、減、運、転	又駐は車場の閉鎖の増設	その他	無回答
全業種	1.1	5.4	2.2	2.2	1.1	3.3	6.5	3.3	0.0	6.5	3.3
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0
製造業	0.0	11.8	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
小売業	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	9.1	9.1
運輸・倉庫業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
サービス業	3.2	6.5	3.2	3.2	0.0	6.5	6.5	9.7	0.0	6.5	6.5
中小企業	1.2	6.0	1.2	2.4	1.2	3.6	7.1	3.6	0.0	6.0	2.4
大企業	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5

今期の生産額、売上額、完成工事高が前年同期より減少した主な理由（複数回答可）（単位 %）

減少理由	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	然天候条件などの自	増受注又は需要の減少	情道の路、変化、交通事	ズは製消（商）品又	金格出荷改定上・販、売料価	促売進出等の販売	へ開新製業大客容得意の先増減拓・	業種の手業者の進出、他	客得意の先増減拓・	又は客単価の下上昇	品取量の増減（商）
全業種	26.7	68.5	4.5	14.5	20.9	2.6	1.0	17.4	28.0	38.9	5.5
建設業	15.7	94.1	0.0	5.9	17.6	0.0	2.0	21.6	17.6	37.3	3.9
製造業	15.6	68.9	2.2	20.0	26.7	2.2	0.0	6.7	20.0	24.4	6.7
卸売業	36.4	72.7	3.6	20.0	25.5	5.5	0.0	14.5	32.7	43.6	10.9
小売業	37.8	48.6	10.8	18.9	18.9	2.7	0.0	35.1	24.3	45.9	0.0
運輸・倉庫業	28.6	71.4	7.1	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	21.4	28.6	14.3
サービス業	27.5	60.6	5.5	13.8	17.4	2.8	1.8	15.6	35.8	42.2	3.7
中小企業	26.5	68.7	4.8	14.8	21.3	2.7	1.0	16.8	28.5	39.5	5.8
大企業	30.0	65.0	0.0	10.0	15.0	0.0	0.0	25.0	20.0	30.0	0.0

減少理由	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	上品取の抜製（商）向	採路工採算線場、部門張、縮、小不	変移工変化、等、立地舗の	約支店の開設、増減、特	力老設の低化、店競争の	又両機は導機、備、買・替車	員営の増、減、外、商、社	手技の増者、減、運、転	又駐は車場の閉鎖の増設	その他	無回答
全業種	0.6	2.9	0.6	1.3	5.8	3.5	2.6	3.5	0.6	12.2	1.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	0.0	7.8	0.0	9.8	0.0
製造業	0.0	6.7	4.4	0.0	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	22.2	2.2
卸売業	3.6	1.8	0.0	3.6	3.6	1.8	0.0	1.8	0.0	10.9	0.0
小売業	0.0	5.4	0.0	5.4	8.1	2.7	5.4	2.7	2.7	16.2	0.0
運輸・倉庫業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	14.3	0.0	7.1	0.0
サービス業	0.0	2.8	0.0	0.0	10.1	5.5	5.5	2.8	0.9	9.2	1.8
中小企業	0.7	3.1	0.3	1.0	5.8	3.4	2.7	3.8	0.7	11.7	1.0
大企業	0.0	0.0	5.0	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0

### 3. 原材料、製（商）品仕入価格

《3期連続の上昇、次期予測は反転下落へ》

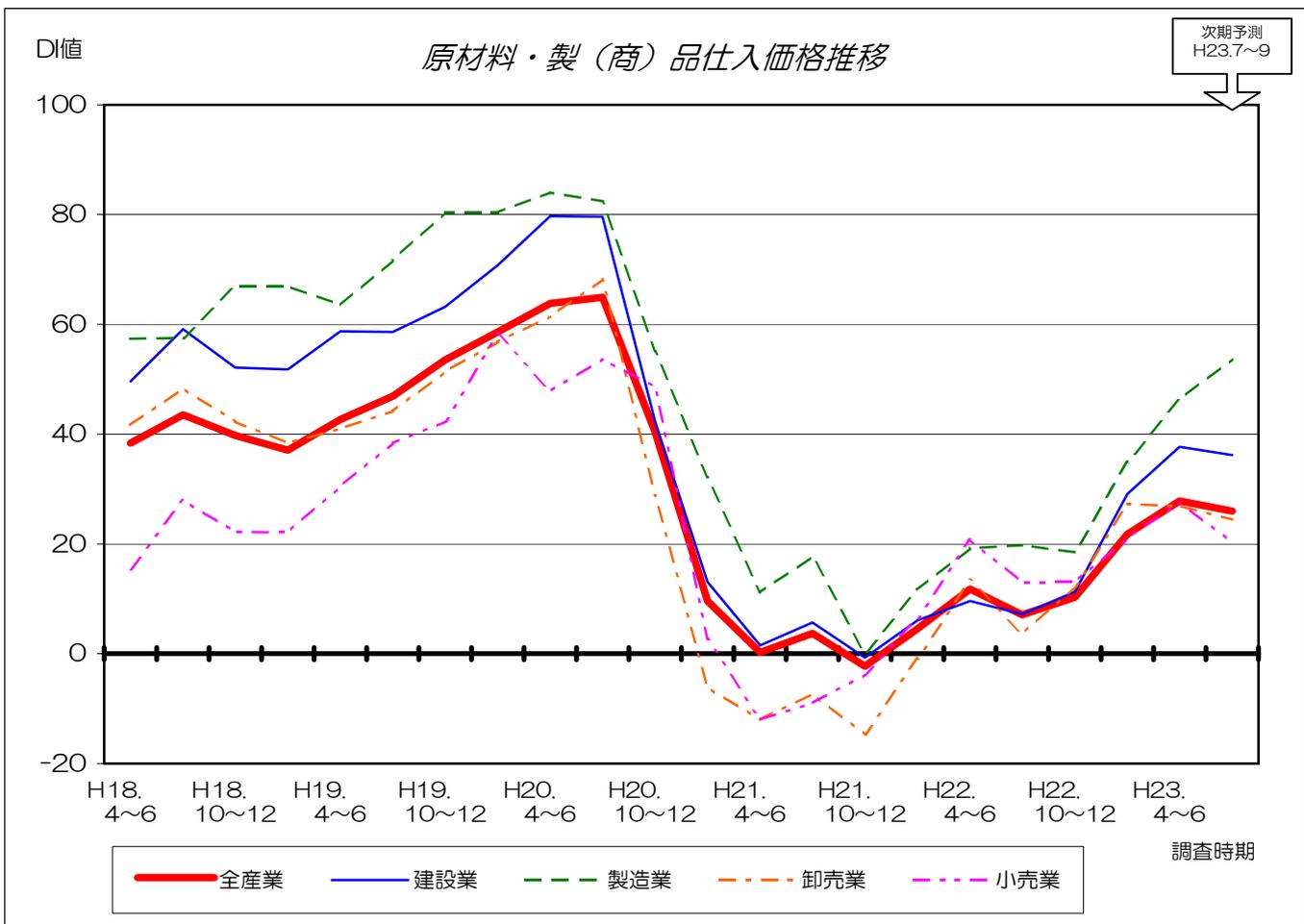
原材料、製（商）品仕入価格は「上昇」と回答した企業割合は31.1%、「下落」と回答した企業割合は3.3%となっており、DI値は27.8（前期DI値21.8）と前期比+6.0ポイントの「上昇」となっている。

業種別に対前期比でDI値を見ると、卸売業が-0.3ポイントと減少したものの、運輸・倉庫業+23.1ポイント、製造業+11.4ポイント、建設業+8.6ポイント、小売業+6.6ポイント、サービス業+4.2ポイントの増加となっている。

また、次四半期予測DI値については26.0となっており、今期比で-1.8ポイントの「下落」予測となっている。

《 原材料、製品仕入価格(前年同期と比較して) 》 (単位 %)

	今四半期(23年4~6月期)実績					次四半期(23年7~9月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	31.1	52.1	3.3	13.5	27.8	28.7	49.9	2.7	18.7	26.0
建設業	40.0	53.1	2.3	4.6	37.7	37.7	52.3	1.5	8.5	36.2
製造業	48.4	47.4	2.1	2.1	46.3	55.8	34.7	2.1	7.4	53.7
卸売業	35.3	56.3	8.4	0.0	26.9	28.6	61.3	4.2	5.9	24.4
小売業	31.9	59.4	4.3	4.3	27.6	26.1	58.0	5.8	10.1	20.3
運輸・倉庫業	37.1	25.7	2.9	34.3	34.2	28.6	34.3	2.9	34.3	25.7
サービス業	16.9	53.0	1.6	28.5	15.3	14.5	49.0	2.0	34.5	12.5
中小企業	32.2	51.1	3.4	13.3	28.8	29.6	49.1	2.8	18.6	26.8
大企業	15.6	66.7	2.2	15.6	13.4	15.6	62.2	2.2	20.0	13.4



#### 4. 受注価格、販売価格

《3期ぶりの悪化、次期予測は反転改善へ》

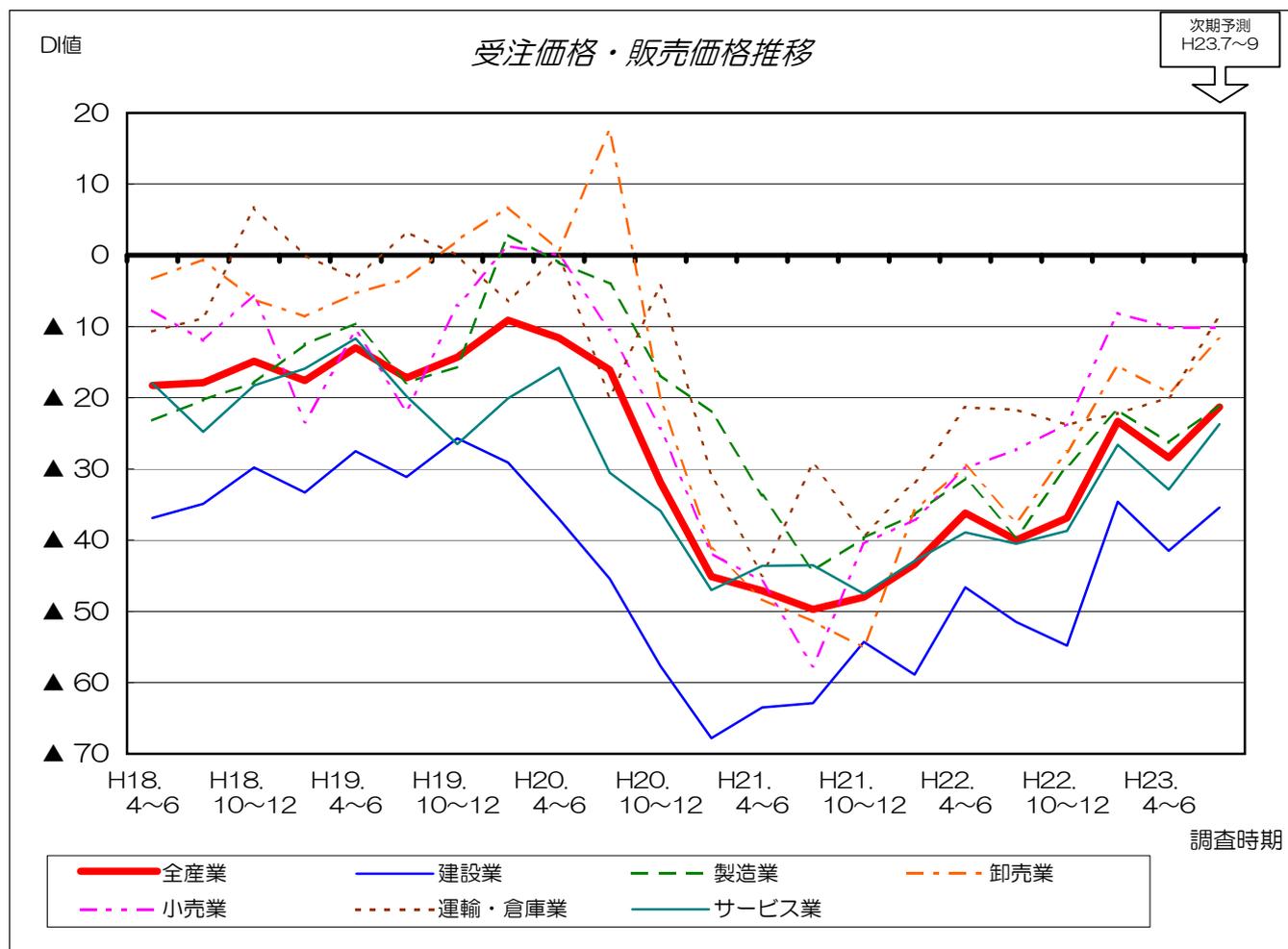
受注価格、販売価格については、「上昇」と回答した企業割合は4.7%、「下落」と回答した企業割合は33.1%となっており、DI値は▲28.4（前期DI値▲23.3）と前期比-5.1ポイントの悪化となった。

業種別に対前期比でDI値を見ると、運輸・倉庫業が+2.2ポイントと改善したものの、建設業が-6.9ポイント、サービス業-6.3ポイント、製造業-4.6ポイント、卸売業-3.8ポイント、小売業-2.0ポイントの悪化となった。

次四半期予測DI値については▲21.3となっており、今期比で+7.1ポイントの改善予測となっている。

《 受注価格、販売価格(前年同月と比較して) 》 (単位 %)

	今四半期(23年4~6月期)実績					次四半期(23年7~9月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	4.7	59.3	33.1	2.9	▲28.4	4.2	61.4	25.5	8.9	▲21.3
建設業	5.4	46.9	46.9	0.8	▲41.5	4.6	50.0	40.0	5.4	▲35.4
製造業	3.2	66.3	29.5	1.1	▲26.3	3.2	66.3	24.2	6.3	▲21.0
卸売業	10.1	60.5	29.4	0.0	▲19.3	8.4	65.5	20.2	5.9	▲11.8
小売業	11.6	65.2	21.7	1.4	▲10.1	7.2	68.1	17.4	7.2	▲10.2
運輸・倉庫業	0.0	71.4	20.0	8.6	▲20.0	0.0	77.1	8.6	14.3	▲8.6
サービス業	1.2	59.0	34.1	5.6	▲32.9	2.0	59.4	25.7	12.9	▲23.7
中小企業	4.9	57.4	34.7	3.1	▲29.8	4.3	60.1	26.4	9.2	▲22.1
大企業	2.2	86.7	11.1	0.0	▲8.9	2.2	80.0	13.3	4.4	▲11.1



## 5. 製（商）品在庫

《6期連続の改善、次期予測はさらに改善へ》

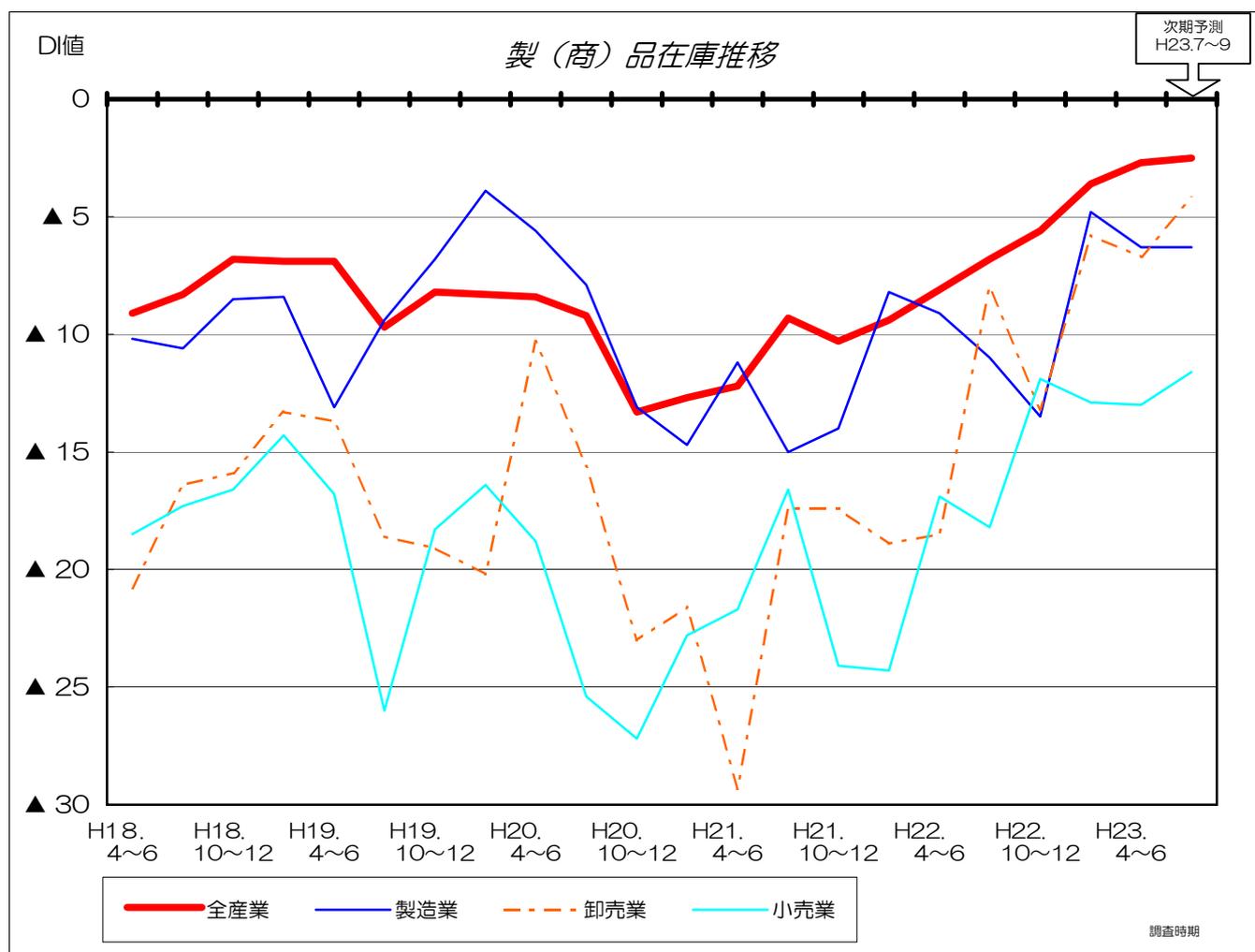
製（商）品在庫は、「適正」と回答した企業割合は60.7%、「不足」と回答した企業割合は5.6%、「過剰」と回答した企業割合は8.3%となっており、DI値は▲2.7（前期DI値▲3.6）と前期比+0.9ポイントの改善となった。

次四半期予測DI値については▲2.5となっており、今期比で+0.2ポイントの改善が予測されている。

《製（商）品在庫（貴社の適正水準と比較して）》

（単位 %）

	今四半期(23年4～6月期)実績					次四半期(23年7～9月期)予測				
	不足	適正	過剰	未記入	DI値	不足	適正	過剰	未記入	DI値
全業種	5.6	60.7	8.3	25.4	▲2.7	3.7	59.5	6.2	30.6	▲2.5
建設業	6.2	57.7	1.5	34.6	4.7	4.6	56.2	1.5	37.7	3.1
製造業	5.3	77.9	11.6	5.3	▲6.3	2.1	75.8	8.4	13.7	▲6.3
卸売業	10.1	68.1	16.8	5.0	▲6.7	5.9	73.9	10.1	10.1	▲4.2
小売業	5.8	69.6	18.8	5.8	▲13.0	2.9	72.5	14.5	10.1	▲11.6
運輸・倉庫業	8.6	34.3	2.9	54.3	5.7	8.6	34.3	2.9	54.3	5.7
サービス業	2.8	53.4	4.4	39.4	▲1.6	2.4	48.2	4.0	45.4	▲1.6
中小企業	5.4	61.0	8.3	25.3	▲2.9	3.7	59.7	6.1	30.5	▲2.4
大企業	8.9	55.6	8.9	26.7	0.0	4.4	57.8	6.7	31.1	▲2.3



## 6. 営業利益

《2期ぶりの悪化、次期予測は反転改善へ》

営業利益は、「増加」と回答した企業割合は10.9%、「減少した」と回答した企業割合は51.2%、「横ばい」と回答した企業割合は36.7%となり、DI値は▲40.3（前期DI値▲32.8）と前期比-7.5ポイントの悪化となった。

業種別に対前期比でDI値を見ると、小売業が-23.1ポイント（前期DI値▲16.1）、運輸・倉庫業-15.1ポイント（同▲27.7）、製造業-12.3ポイント（同▲27.7）、卸売業-8.3ポイント（同▲32.0）、建設業-5.5ポイント（同▲39.1）、サービス業-1.0ポイント（同▲37.2）の悪化となった。

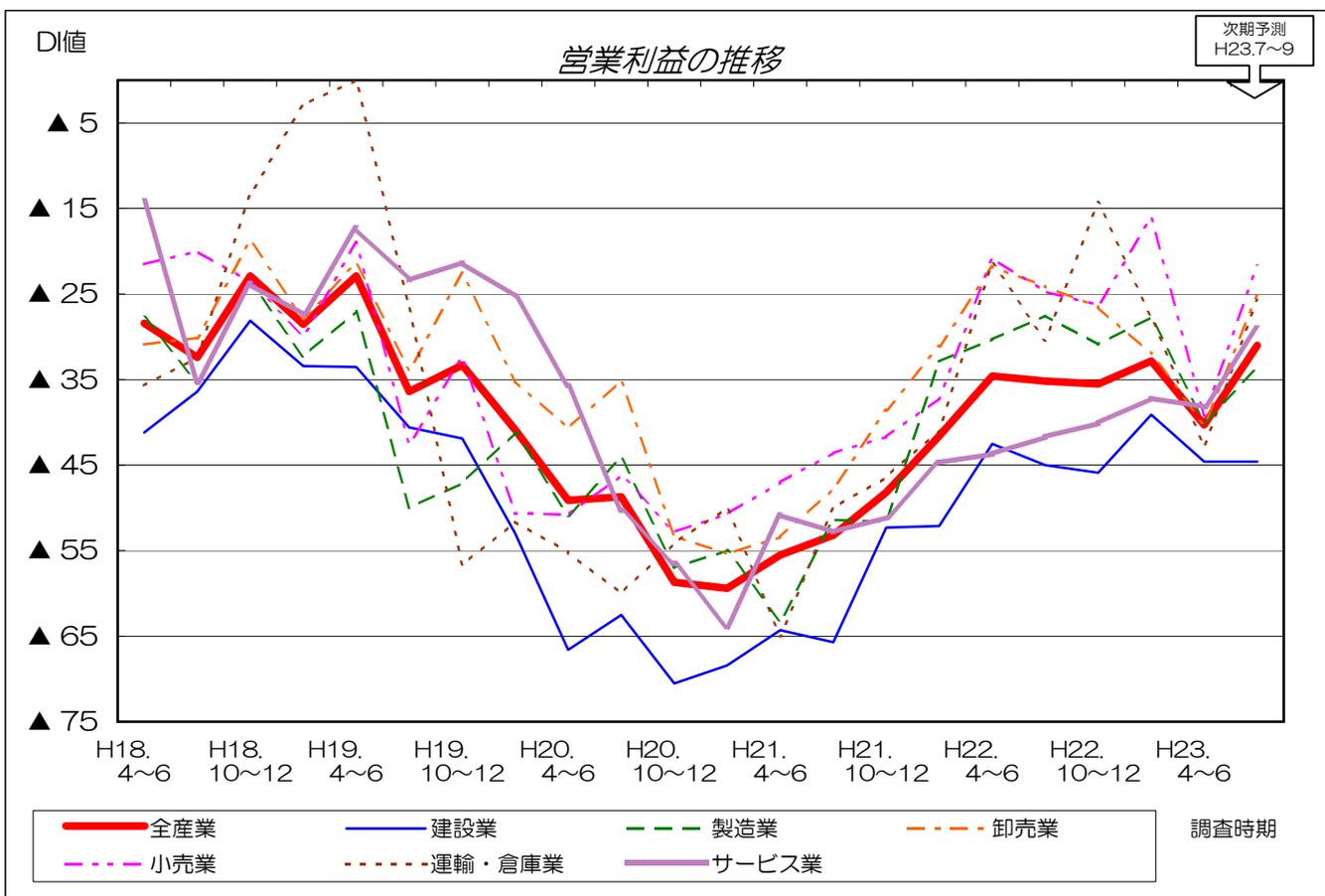
規模別のDI値を見ると、中小企業では前期比-4.6ポイント（前期DI値▲36.2）、大企業は前期比-42.5ポイント（同9.1）とともに悪化した。

次四半期予測DI値については▲31.0となっており、今期比で+9.3ポイントの改善が予測されている。

《 営業利益(前年同期と比較して) 》

( 単位 % )

	今四半期(23年4~6月期)実績					次四半期(23年7~9月期)予測				
	増加	横ばい	減少	未記入	DI値	増加	横ばい	減少	未記入	DI値
全業種	10.9	36.7	51.2	1.1	▲40.3	10.2	41.3	41.2	7.3	▲31.0
建設業	8.5	36.9	53.1	1.5	▲44.6	6.2	37.7	50.8	5.4	▲44.6
製造業	9.5	40.0	49.5	1.1	▲40.0	9.5	38.9	43.2	8.4	▲33.7
卸売業	10.1	39.5	50.4	0.0	▲40.3	12.6	43.7	37.8	5.9	▲25.2
小売業	15.9	27.5	55.1	1.4	▲39.2	14.5	42.0	36.2	7.2	▲21.7
運輸・倉庫業	14.3	28.6	57.1	0.0	▲42.8	8.6	48.6	34.3	8.6	▲25.7
サービス業	11.2	37.8	49.4	1.6	▲38.2	10.4	41.8	39.4	8.4	▲29.0
中小企業	10.7	36.5	51.5	1.2	▲40.8	10.0	40.8	41.7	7.5	▲31.7
大企業	13.3	40.0	46.7	0.0	▲33.4	13.3	48.9	33.3	4.4	▲20.0



## 7. 売掛期間

《2期連続の改善、次期予測は反転悪化へ》

売掛期間は、「短縮化」と回答した企業割合は2.0%、「長期化」と回答した企業割合は8.0%、「不変」と回答した企業割合は87.2%となっており、DI値は▲6.0（前期DI値▲6.9）と前期比+0.9ポイントの改善となった。

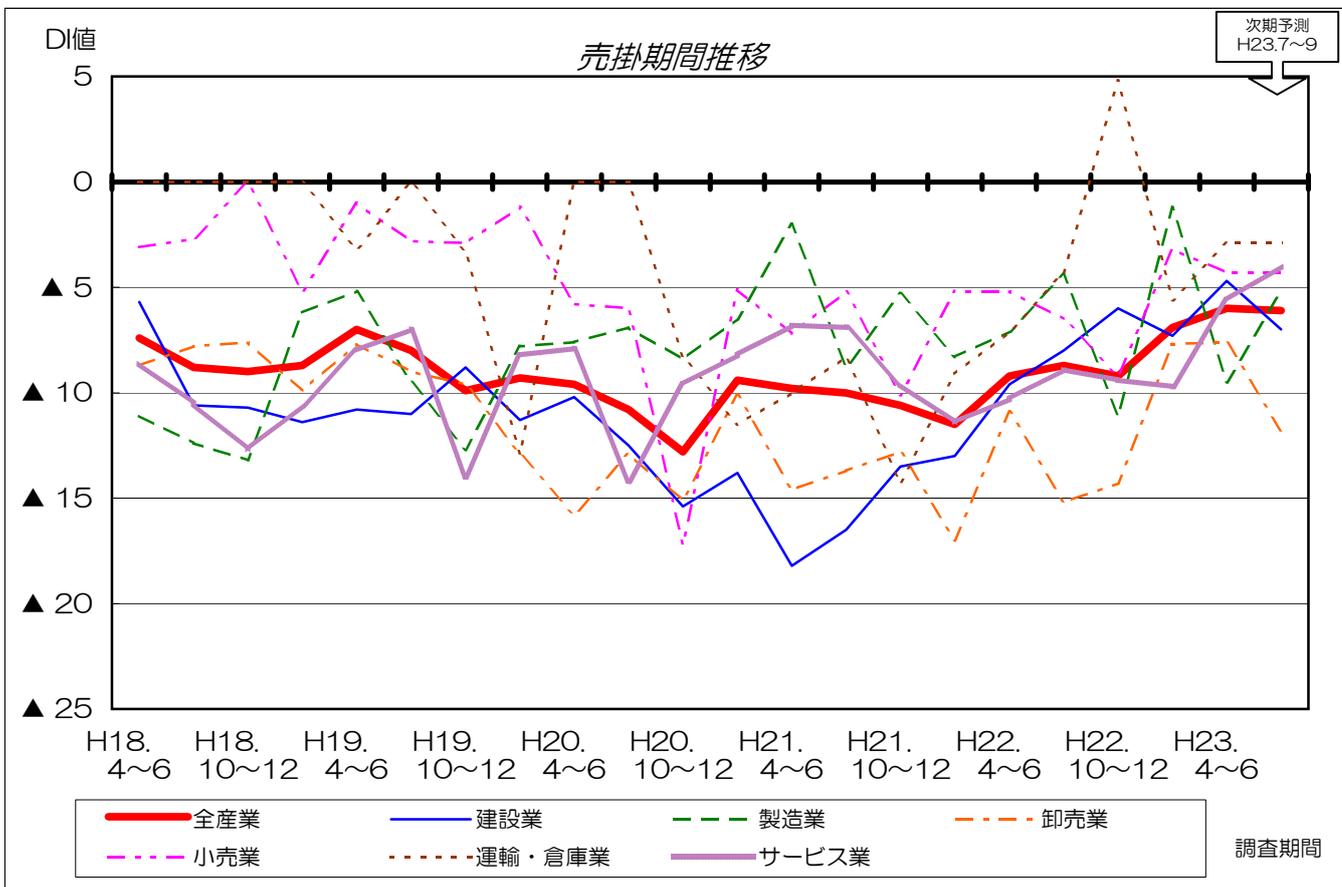
規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比+1.3ポイント（前期DI値▲7.8）と改善したものの、大企業では前期比-4.5ポイント（同4.5）と悪化した。

次四半期予測DI値については▲6.1となっており、今期比で-0.1ポイントの悪化が予測されている。

《 売掛期間(前年同期と比較して)》

(単位 %)

	今四半期(23年4~6月期)実績					次四半期(23年7~9月期)予測				
	短縮化	不変	長期化	未記入	DI値	短縮化	不変	長期化	未記入	DI値
全業種	2.0	87.2	8.0	2.7	▲6.0	1.4	82.1	7.5	9.0	▲6.1
建設業	1.5	91.5	6.2	0.8	▲4.7	1.5	86.2	8.5	3.8	▲7.0
製造業	0.0	90.5	9.5	0.0	▲9.5	1.1	85.3	6.3	7.4	▲5.2
卸売業	2.5	86.6	10.1	0.8	▲7.6	0.8	79.8	12.6	6.7	▲11.8
小売業	8.7	75.4	13.0	2.9	▲4.3	5.8	73.9	10.1	10.1	▲4.3
運輸・倉庫業	0.0	97.1	2.9	0.0	▲2.9	0.0	88.6	2.9	8.6	▲2.9
サービス業	1.2	85.9	6.8	6.0	▲5.6	0.8	81.1	4.8	13.3	▲4.0
中小企業	2.1	86.5	8.6	2.8	▲6.5	1.5	81.3	8.0	9.2	▲6.5
大企業	0.0	97.8	0.0	2.2	0.0	0.0	93.3	0.0	6.7	0.0



## 8. 資金繰り

《2期連続の改善、次期予測は反転悪化へ》

資金繰りについては、「楽である」と回答した企業は5.2%、「苦しい」と回答した企業は26.1%、「不変」と回答した企業は68.0%となっており、DI値は▲20.9（前期DI値▲22.3）と前期比+1.4ポイントの改善となった。

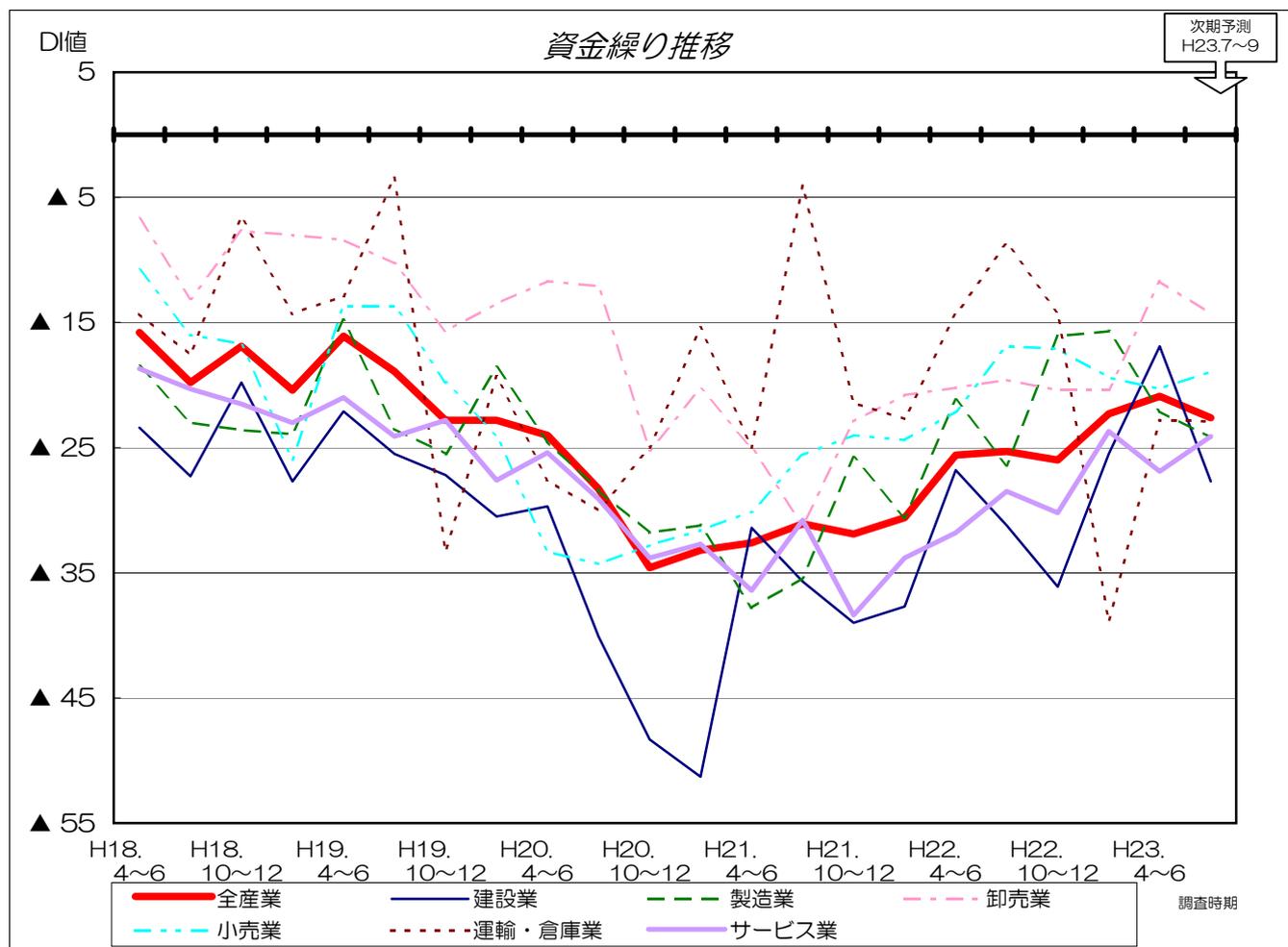
業種別に対前期比でDI値を見ると、製造業が-6.4ポイント、サービス業-3.2ポイント、小売業-0.9ポイントと悪化したものの、運輸・倉庫業+16.1ポイント、卸売業+8.7ポイント、建設業+8.6ポイントの改善となった。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比+1.7ポイント（前期DI値▲23.9）と改善し、大企業は前期と同値だった（同▲2.2）。

《 資金繰り(前年同期と比較して) 》

( 単位 % )

	今四半期(23年4~6月期)実績					次四半期(23年7~9月期)予測				
	楽である	不変	苦しい	未記入	DI値	楽になる	不変	苦しくなる	未記入	DI値
全業種	5.2	68.0	26.1	0.7	▲20.9	2.7	64.4	25.3	7.6	▲22.6
建設業	6.9	69.2	23.8	0.0	▲16.9	1.5	63.8	29.2	5.4	▲27.7
製造業	2.1	73.7	24.2	0.0	▲22.1	1.1	66.3	25.3	7.4	▲24.2
卸売業	5.9	76.5	17.6	0.0	▲11.7	1.7	76.5	16.0	5.9	▲14.3
小売業	7.2	63.8	27.5	1.4	▲20.3	7.2	58.0	26.1	8.7	▲18.9
運輸・倉庫業	2.9	71.4	25.7	0.0	▲22.8	0.0	68.6	22.9	8.6	▲22.9
サービス業	4.8	61.8	31.7	1.6	▲26.9	3.6	59.4	27.7	9.2	▲24.1
中小企業	5.4	66.3	27.6	0.8	▲22.2	2.9	62.6	26.7	7.8	▲23.8
大企業	2.2	93.3	4.4	0.0	▲2.2	0.0	91.1	4.4	4.4	▲4.4



## 9. 100万円以上の新規借入

100万円以上の新規借入を「行った」とする企業は38.7%（前期42.9%）と前期比で4.2%の減少となった。一方で、「行っていない」とする企業は60.1%（前期54.9%）と前期比で5.2%の増加となった。

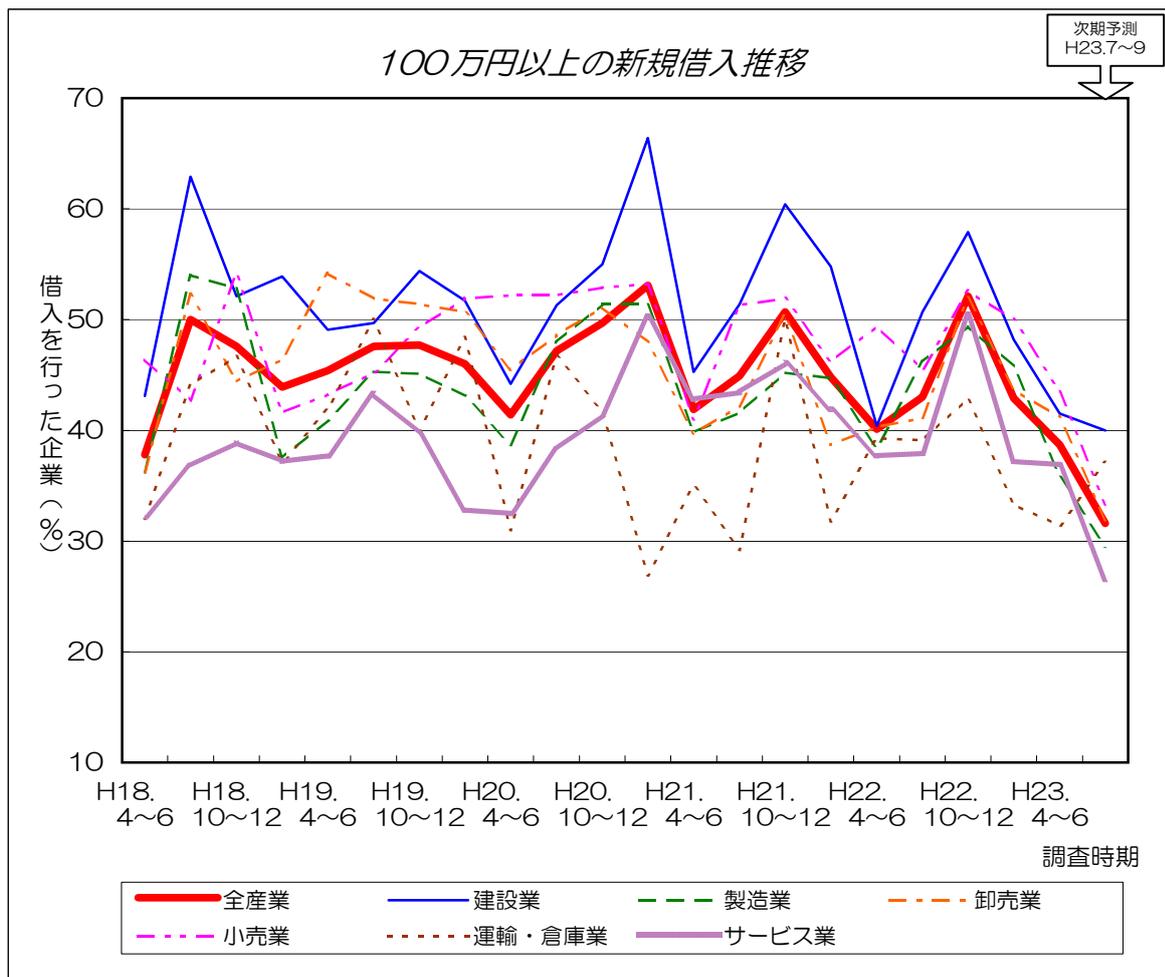
資金使途については、「運転」74.8%、「運転・設備」11.9%、「設備」6.3%という内訳になっている。

次四半期については、「行う予定」とする企業は31.6%、「行わない」とする企業は62.6%となっている。

《 100万円以上の新規借入 》

（単位 %）

	今四半期(23年4~6月期)実績			次四半期(23年7~9月期)予測		
	行った	行っていない	無回答	行う予定	行わない	無回答
全業種	38.7	60.1	1.1	31.6	62.6	5.9
建設業	41.5	56.9	1.5	40.0	56.2	3.8
製造業	35.8	62.1	2.1	29.5	61.1	9.5
卸売業	41.2	57.1	1.7	31.9	64.7	3.4
小売業	43.5	56.5	0.0	33.3	63.8	2.9
運輸・倉庫業	31.4	68.6	0.0	37.1	62.9	0.0
サービス業	36.9	62.2	0.8	26.5	65.1	8.4
中小企業	38.8	60.1	1.1	31.1	63.2	5.7
大企業	37.8	60.0	2.2	37.8	53.3	8.9



# 100万円以上の新規借入資金使途

(単位 %)

	今四半期100万円以上の 新規借入の資金使途(実績)				次四半期100万円以上の 新規借入予定の資金使途(予測)			
	運転資金	運転設備	設備資金	無回答	運転資金	運転設備	設備資金	無回答
全業種	74.8	11.9	6.3	7.0	69.1	15.0	7.7	8.2
建設業	77.8	5.6	3.7	13.0	73.1	7.7	5.8	13.5
製造業	79.4	8.8	8.8	2.9	64.3	17.9	10.7	7.1
卸売業	79.6	8.2	2.0	10.2	68.4	13.2	5.3	13.2
小売業	73.3	20.0	3.3	3.3	65.2	30.4	4.3	0.0
運輸・倉庫業	81.8	9.1	9.1	0.0	46.2	23.1	23.1	7.7
サービス業	68.5	16.3	9.8	5.4	74.2	13.6	7.6	4.5
中小企業	77.5	9.9	5.5	7.1	72.4	12.8	6.9	7.9
大企業	35.3	41.2	17.6	5.9	29.4	41.2	17.6	11.8

## 10. 100万円以上の設備投資

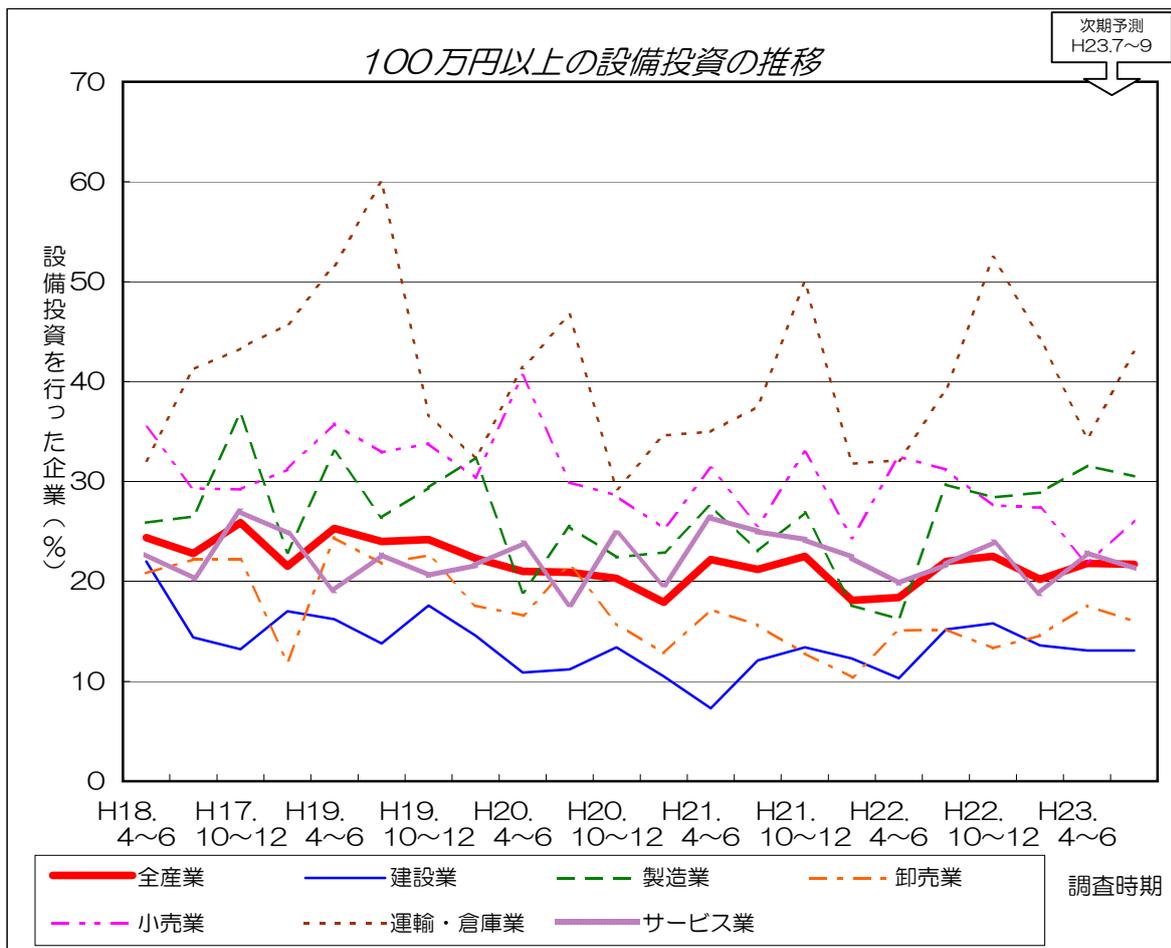
100万円以上の設備投資を「行った」とする企業は21.8%、「行ってない」とする企業は75.2%となっており、その投資内容については、「新規」25.0%、「新規・更新」34.9%、「更新」31.6%という内訳になった。

次期予測については、「行う予定」とする企業は21.7%、「行わない」とする企業は71.6%であり、その投資内容については、「新規」26.5%、「新規・更新」37.1%、「更新」29.8%となっている。

《 100万円以上の設備投資 》

( 単位 % )

	今四半期(23年4~6月期)実績			次四半期(23年7~9月期)予測		
	行った	行ってない	無回答	行う予定	行わない	無回答
全 業 種	21.8	75.2	3.0	21.7	71.6	6.7
建 設 業	13.1	85.4	1.5	13.1	83.1	3.8
製 造 業	31.6	67.4	1.1	30.5	62.1	7.4
卸 売 業	17.6	77.3	5.0	16.0	77.3	6.7
小 売 業	21.7	76.8	1.4	26.1	69.6	4.3
運 輸 ・ 倉 庫 業	34.3	62.9	2.9	42.9	54.3	2.9
サ ー ビ ス 業	22.9	73.1	4.0	21.3	69.5	9.2
中 小 企 業	18.7	78.2	3.1	18.9	74.4	6.7
大 企 業	66.7	31.1	2.2	62.2	31.1	6.7



## 100万円以上の設備投資

(単位 %)

	今四半期100万円以上の 設備投資の資金使途(実績)				次四半期100万円以上の 設備投資計画の資金使途(予測)			
	新規	新規、更新	更新	無回答	新規	新規、更新	更新	無回答
全業種	25.0	34.9	31.6	8.6	26.5	37.1	29.8	6.6
建設業	17.6	29.4	41.2	11.8	11.8	29.4	58.8	0.0
製造業	16.7	23.3	50.0	10.0	13.8	44.8	31.0	10.3
卸売業	14.3	33.3	42.9	9.5	15.8	42.1	36.8	5.3
小売業	20.0	60.0	6.7	13.3	38.9	44.4	11.1	5.6
運輸・倉庫業	16.7	50.0	33.3	0.0	20.0	33.3	40.0	6.7
サービス業	38.6	33.3	21.1	7.0	39.6	32.1	20.8	7.5
中小企業	28.7	25.4	36.9	9.0	30.9	29.3	34.1	5.7
大企業	10.0	73.3	10.0	6.7	7.1	71.4	10.7	10.7

## 11. 当面の経営上の問題点

当面の経営上の問題点としては、「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」57.0%、「受注、販売競争の激化」53.7%、「営業利益の低下」43.6%の3項目を指摘する傾向が続いており、全業種ともほぼ3項目に集中している。また、「原材料高、入手難」16.8%で前期比-5.8%（前期22.6%）と、震災による原材料の入手難がやや回復したのが表れている。

他に指摘が集中した項目として、建設業では「官公需要の停滞」が全業種で19.1%に対し45.4%、「元請の減少」が全業種で6.9%に対し23.1%と突出し、非常に高水準となっているのが特徴である。

《 当面の経営上の問題点（複数回答可） 》

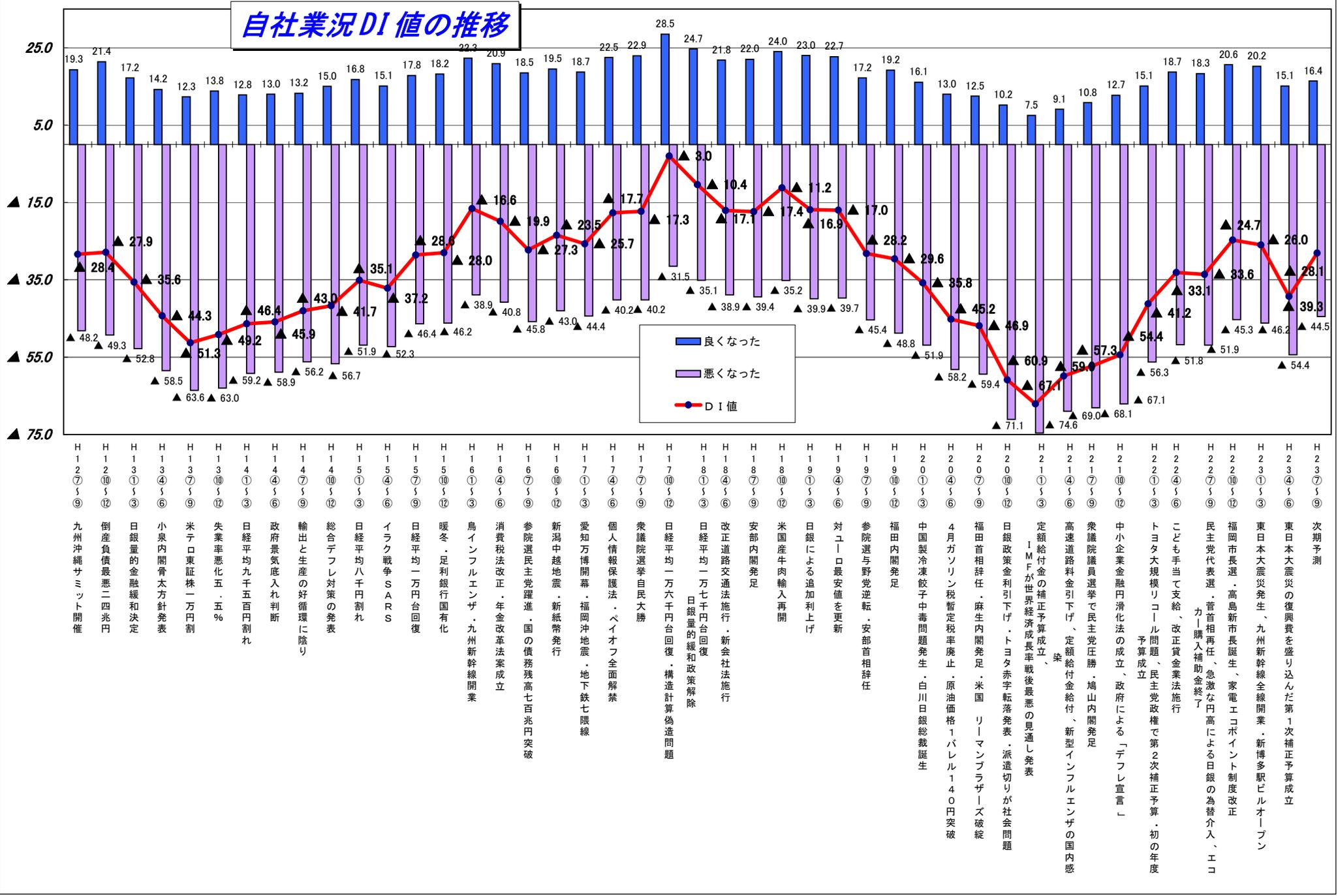
（単位 %）

問題点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	の受注激化、販売競争	び額売、上額、工事高の伸び	出店、業者、大型店の進	官公需要の停滞	輸出不振	元請の減少	低下率、稼働率	難原材料高、入手	の出荷下、納品価格	過剰在庫	嫁販売価格への転	増難販、代金の回収	化売、掛金の長期
全業種	53.7	57.0	12.8	19.1	2.7	6.9	7.2	16.8	13.6	3.4	18.1	5.6	4.9
建設業	75.4	67.7	9.2	45.4	0.0	23.1	6.9	17.7	10.8	0.0	14.6	6.2	7.7
製造業	47.4	54.7	3.2	5.3	3.2	1.1	11.6	35.8	25.3	4.2	33.7	6.3	3.2
卸売業	57.1	58.0	6.7	16.8	8.4	1.7	5.9	21.8	21.0	7.6	33.6	13.4	8.4
小売業	49.3	55.1	31.9	8.7	4.3	0.0	1.4	8.7	8.7	10.1	13.0	4.3	4.3
運輸・倉庫業	25.7	65.7	8.6	14.3	5.7	11.4	14.3	17.1	2.9	0.0	8.6	2.9	0.0
サービス業	48.2	51.0	16.5	15.3	0.4	4.4	6.8	8.8	10.0	1.6	9.2	2.0	3.2
中小企業	52.5	56.4	13.0	19.3	2.8	7.4	6.9	16.6	13.2	3.7	18.4	5.7	5.2
大企業	71.1	64.4	8.9	15.6	2.2	0.0	11.1	20.0	20.0	0.0	13.3	4.4	0.0

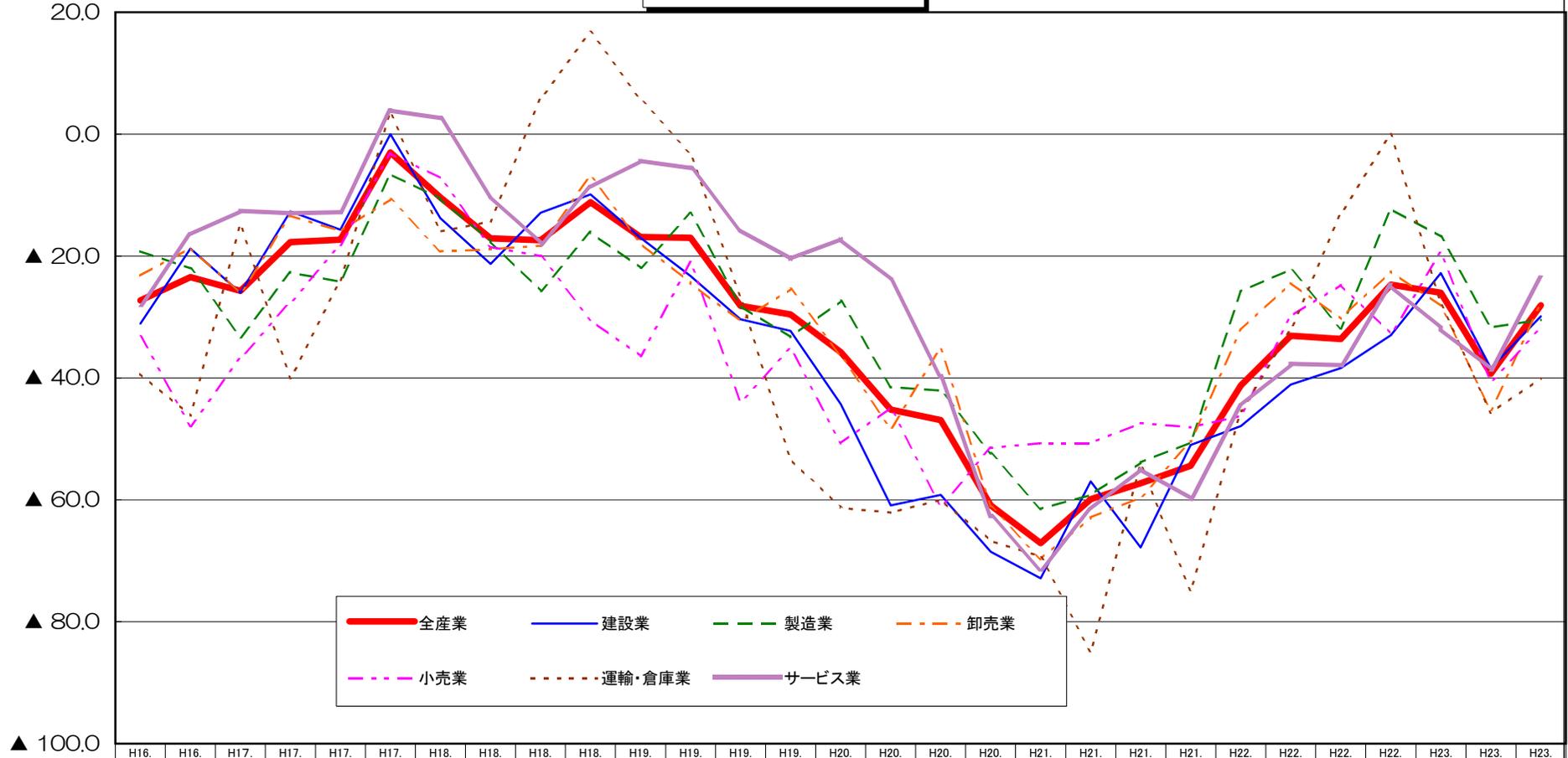
問題点	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	経費の増加	営業利益の低下	不隘店、舗、駐工場用地狭	代化、舗、老朽化、設備過	店剩、舗、設の値上	が家賃地代の値上	化難人、材定着、性の悪	費人手過剩、人件	対労務管理、組合	資金借入難	金利負担増加	難情報不足、人材	その他
全業種	18.9	43.6	1.3	7.0	0.4	14.3	8.0	4.3	6.7	4.3	3.4	2.4	3.4
建設業	14.6	51.5	1.5	1.5	0.0	12.3	8.5	1.5	5.4	6.2	2.3	1.5	0.8
製造業	5.3	35.8	1.1	13.7	0.0	10.5	7.4	2.1	6.3	5.3	0.0	2.1	3.2
卸売業	18.5	42.9	1.7	1.7	0.0	7.6	3.4	5.0	3.4	3.4	2.5	3.4	4.2
小売業	23.2	36.2	1.4	11.6	1.4	15.9	14.5	0.0	5.8	5.8	7.2	1.4	5.8
運輸・倉庫業	28.6	42.9	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	25.7	5.7	2.9	2.9	2.9	2.9
サービス業	24.1	45.0	1.2	7.6	0.8	19.7	9.6	4.4	9.6	3.2	4.8	2.8	4.0
中小企業	18.9	43.7	1.2	6.9	0.3	14.9	8.3	4.0	7.2	4.4	3.7	2.5	3.7
大企業	20.0	42.2	2.2	8.9	2.2	6.7	4.4	8.9	0.0	2.2	0.0	2.2	0.0

自社業況の景況判断推移（「良くなった」「悪くなった」別、時代背景参考）

自社業況DI値の推移



自社業況DI値の推移



	H16. 7~9	H16. 10~12	H17. 1~3	H17. 4~6	H17. 7~9	H17. 10~12	H18. 1~3	H18. 4~6	H18. 7~9	H18. 10~12	H19. 1~3	H19. 4~6	H19. 7~9	H19. 10~12	H20. 1~3	H20. 4~6	H20. 7~9	H20. 10~12	H21. 1~3	H21. 4~6	H21. 7~9	H21. 10~12	H22. 1~3	H22. 4~6	H22. 7~9	H22. 10~12	H23. 1~3	H23. 4~6	H23. 7~9
全産業	▲ 27.3	▲ 23.5	▲ 25.7	▲ 17.7	▲ 17.3	▲ 3.0	▲ 10.4	▲ 17.1	▲ 17.4	▲ 11.2	▲ 16.9	▲ 17.0	▲ 28.2	▲ 29.6	▲ 35.8	▲ 45.2	▲ 46.9	▲ 60.9	▲ 67.1	▲ 59.9	▲ 57.3	▲ 54.4	▲ 41.2	▲ 33.1	▲ 33.6	▲ 24.7	▲ 26.0	▲ 39.3	▲ 28.1
建設業	▲ 31.1	▲ 18.8	▲ 26.0	▲ 12.7	▲ 15.7	0.0	▲ 13.8	▲ 21.3	▲ 12.9	▲ 9.9	▲ 17.0	▲ 23.3	▲ 30.4	▲ 32.3	▲ 44.3	▲ 60.9	▲ 59.2	▲ 68.5	▲ 72.9	▲ 57.0	▲ 67.8	▲ 51.0	▲ 47.9	▲ 41.1	▲ 38.4	▲ 33.0	▲ 22.8	▲ 38.4	▲ 29.9
製造業	▲ 19.2	▲ 22.0	▲ 33.3	▲ 22.7	▲ 24.2	▲ 6.6	▲ 10.6	▲ 17.6	▲ 25.7	▲ 16.1	▲ 21.9	▲ 13.0	▲ 28.2	▲ 33.3	▲ 27.4	▲ 41.5	▲ 42.1	▲ 52.4	▲ 61.5	▲ 59.2	▲ 53.9	▲ 50.6	▲ 25.8	▲ 22.2	▲ 31.9	▲ 12.3	▲ 16.8	▲ 31.7	▲ 30.5
卸売業	▲ 23.2	▲ 18.7	▲ 26.1	▲ 13.4	▲ 15.9	▲ 10.7	▲ 19.2	▲ 18.9	▲ 18.3	▲ 6.9	▲ 17.9	▲ 24.4	▲ 30.7	▲ 25.4	▲ 36.4	▲ 48.3	▲ 35.1	▲ 61.1	▲ 69.7	▲ 62.9	▲ 59.6	▲ 50.5	▲ 32.1	▲ 24.4	▲ 30.3	▲ 22.5	▲ 28.2	▲ 45.4	▲ 27.8
小売業	▲ 33.2	▲ 47.9	▲ 36.7	▲ 27.6	▲ 18.2	▲ 3.2	▲ 7.2	▲ 18.5	▲ 20.0	▲ 30.5	▲ 36.4	▲ 21.0	▲ 43.9	▲ 35.2	▲ 50.7	▲ 44.9	▲ 61.1	▲ 51.5	▲ 50.7	▲ 50.7	▲ 47.4	▲ 48.1	▲ 46.2	▲ 29.9	▲ 24.7	▲ 32.8	▲ 19.4	▲ 40.6	▲ 31.9
運輸・倉庫業	▲ 39.3	▲ 46.2	▲ 14.8	▲ 40.0	▲ 24.1	3.6	▲ 16.0	▲ 14.3	5.9	16.7	5.7	▲ 3.2	▲ 26.7	▲ 53.3	▲ 61.3	▲ 62.1	▲ 60.0	▲ 66.7	▲ 69.3	▲ 85.0	▲ 54.1	▲ 75.0	▲ 45.4	▲ 32.1	▲ 13.0	0.0	▲ 27.8	▲ 45.7	▲ 40.0
サービス業	▲ 28.0	▲ 16.5	▲ 12.6	▲ 13.0	▲ 12.8	3.9	2.6	▲ 10.1	▲ 18.0	▲ 8.8	▲ 4.4	▲ 5.6	▲ 15.7	▲ 20.5	▲ 17.2	▲ 23.9	▲ 39.7	▲ 62.7	▲ 71.4	▲ 61.6	▲ 54.9	▲ 59.8	▲ 44.6	▲ 37.7	▲ 37.9	▲ 24.8	▲ 31.9	▲ 38.6	▲ 23.6